

Title	消費者信用事業における女性クレジットカード市場の研究
Sub Title	
Author	大黒太(Ooguro, Futoshi) 片岡一郎
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1981
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001981-0127">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001981-0127</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 大 黒 太

主査 片 岡 一 郎 教授

副査 嶋 口 充 輝 助教授

所属ゼミナール 嶋 口 充 輝 研

和 田 充 夫 助教授

## 「消費者信用事業における 女性クレジットカード市場の研究」

消費者信用事業における女性クレジットカード市場の研究は、女性が、未だ結婚をして収入がなくなったり、男性カードホルダーの付属者の扱いで、市場としても明確にされておらず調査もほぼなされたことはない。社会の変化と共に、女性の会社への再就職化や、結婚しても会社をやめなくなったこと（これは社会的要因や経済的要因があるが）又、ファーストフード店やスーパー、百貨店等でのパート・アルバイトといった仕事を占めている現在を考えると、女性市場が小さい市場で、見のがしてよいという市場ではなくなってきたと考えられる。

ここで、女性クレジットカードに対する考え方、使用の状況等を各個のライフスタイル項目との分析により、どういう市場が存在し、どういう活動考え方をしているのか、またどう男性の行動や消費と異っているのか、会社としてはどの様にこの市場に対応すべきかを述べている。

この分析にあたっては、アンケートによる調査を行ない友人・知人の協力により実施された。

当研究の結論として、女性のクレジットカード市場は今後充分伸び、男性とは異った消費行動をなすもので、潜在的には男性の市場をうわ回るものと予想される程の市場規模で、特に、働く主婦がそのカギを握っていると考えられる。

当論文の構成は、第1章が論文の目的と背景第2章が我が国における消費者信用の現状を述べ、第3章ではライフスタイルマーケティングセグメンテーション、第4章は当調査の内容と分析、最終第5章は、当論文の結論となっている。

本論文の詳しい内容については、本文を参照されたい。